

＜建設業経理士1級（原価計算）ミニテスト6＞部門別計算2

B社は現在A工事とB工事を実施しているが、その際、各工事を援助する2つの補助部門XとYを利用している。X補助部門とY補助部門は、両工場の支援とともに、補助部門間で相互にサービスを供与しあっている。

次の資料により、厳密な意味での相互配賦法で各工事への最も適切な配分額を計算しなさい。

[資料]

1. 補助部門費発生額      X 補助部門費      ¥487,600      Y 補助部門費      ¥298,400

2. サービス提供度合

	A工事	B工事	X 補助部門	Y 補助部門
X 補助部門	624	624	-	312
Y 補助部門	450	360	90	-

＜解答＞

A工事	
B工事	